

大人になる前の準備を しましょう

子どもから大人へ成長することで、子どものときとは違う治療や健康管理が必要になることがあります。このように健康を維持するために必要な医療や福祉などが大人へ移り変わる計画的なプロセスを「移行」といいます。

自分の病気や治療の理解、健康管理、就学・就労を含めその人なりに自律・自立した大人になる準備をしていくことが大切です。

ここで行われる支援を「成人移行支援」といいます。

自律・自立に向けて

自分で治療の決定や生活の管理ができるよう、病気や治療について学びます。

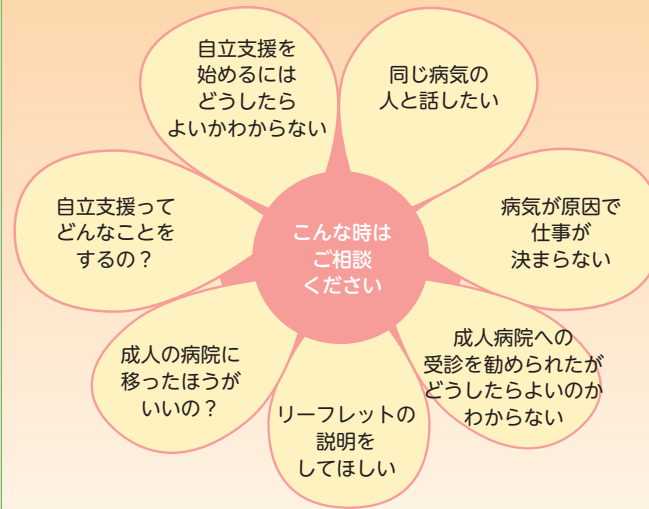
小児医療から成人医療へ

病気や生活が安定しているときに、成人医療へ移る準備を進めていきます。

保護者の方へ

お子さまが自律・自立するためには、御家族の御協力が必須です。お子さまの自律・自立を見守り、必要なときに支えてください。

移行に関するご相談



【相談方法】

- こちらの電子相談フォームはこちら→
- 当センターからメールにてご連絡いたします。
- 直接面談も可能です。



(参考) 医療機関検索システムについて「移行期医療受入可能医療機関検索システム」を公開しています→



- 子どもから大人になったときに、それぞれにあった医療を受けられるようサポートします。
- 成人医療への準備について、情報を発信していきます。詳しくはホームページを御覧ください。(HP) <https://www.tmhp.jp/shouni/about/transitional-care-center.html>



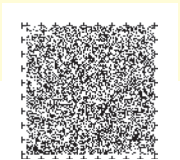
東京都移行期医療支援センター
東京都立小児総合医療センター内
移行期医療支援コーディネーター
〔住所〕〒183-8561 東京都府中市武蔵台 2-8-29
〔電話〕042-300-5111 (代表)

2026.3



大人になっていく あなたへ

～小児のヘルスケアから
成人のヘルスケアへの
移行をサポートします～



東京都移行期医療支援センター
東京都福祉局

成人移行支援のステップ

- ・自分の病名が言える
- ・病気や治療、検査について説明を受ける
- ・薬を自分で管理できる
- ・病気や治療について質問できる

- ・病状が悪くなったときの対処ができる
- ・自分の健康状態を説明できる
- ・周囲にサポートを求めることができる

- ・日常生活上の注意点を理解し生活できる
- ・治療について情報を集めて自分で決めることができる

- ・自分にあった医療機関を選ぶ
- ・将来の生活や夢をイメージできる
- ・妊娠や出産への影響について理解できる

12歳～

15歳～(準備期)

18歳～(成人期)

20歳～

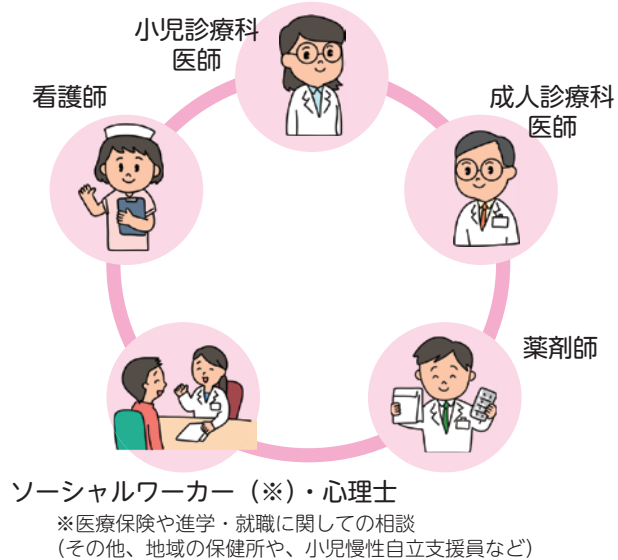
自律・自立に向けた支援→

成人診療へ転科に向けた支援→

移行期医療支援センターでは相談内容に応じ、いろいろな機関と連携し対応いたします。

●適切に必要な医療を切れ目なく提供します。

●移行期医療支援センターは小児診療科と成人診療科が連携できる環境を作っています。



小児	成人 (適切な知識により自己管理・意思表示ができる)
家族中心の診療	本人中心の診療
小児診療科が主体	患者に適した診療科の協力
成人移行支援のパターン	
①小児診療科から	⇒ 成人診療科のみの受診
②小児診療科および	⇔ 成人診療科の両方に受診
③小児診療科の継続	⇒ 必要に応じて成人診療科へ紹介

